

平成 29 年度  
事業報告書

公益財団法人 佐賀県地域福祉振興基金

# 目 次

I. 地域福祉活動に関する事業に対する助成事業	1
1. 佐賀県社会福祉協議会が市町社会福祉協議会と 連携して行う地域福祉活動事業に対する助成事業	1
(1) 地域福祉活動充実助成事業	2
(2) 共助社会づくり・福祉教育推進事業	6
(3) 地域福祉活動充実強化事業	7
2. 非営利法人又は任意団体が実施する地域活動事業に 対する助成事業	13
II. 会務の運営	15
1. 役員会の開催	15
2. 事業推進委員会の開催	16
3. その他の会議等の開催	16

# 平成 29 年度事業報告

## I 地域福祉活動に関する事業に対する助成事業

### 【趣 旨】

佐賀県社会福祉協議会等の非営利法人や任意の団体が実施する福祉教育の推進、地域福祉の条件整備、保健福祉の増進、ボランティア活動の育成及び支援など様々な地域福祉活動に対し事業費を助成し、佐賀県内における地域福祉の推進を図った。

### 【助成先及び助成対象事業】

「公益財団法人佐賀県地域福祉振興基金事業助成金交付要綱」に基づき、佐賀県社会福祉協議会及び非営利の法人又は任意団体が実施する次の地域福祉活動事業に対して助成した。

1. 佐賀県社会福祉協議会が市町社会福祉協議会と連携して行う地域福祉活動事業に対する助成事業
2. 非営利法人又は任意団体が実施する地域福祉活動事業に対する助成事業
  - ①在宅高齢者及び障害者・介護者等に関する事業
  - ②各種福祉サービス提供に関する事業
  - ③社会参加促進に関する事業
  - ④地域の暮らしの諸課題解決に関する事業
  - ⑤保健福祉推進の人材育成に関する事業
  - ⑥保健福祉サービスの充実強化のための事業
  - ⑦健康・生きがいがいづくりの推進に関する事業
  - ⑧ボランティア団体の組織育成やネットワーク化に必要な事業
  - ⑨ボランティアの養成、資質向上を図るための事業
  - ⑩子育て支援に関する事業
  - ⑪地域活性化に関する事業を通して地域福祉に供する事業
  - ⑫福祉に関する調査・研究の事業

### 【各事業の内容】

#### 1. 佐賀県社会福祉協議会が市町社会福祉協議会と連携して行う地域福祉活動事業に対する助成事業

##### (趣旨)

佐賀県社会福祉協議会が実施する福祉教育の推進、地域福祉の条件整備、保健福祉の増進、ボランティア活動の育成及び支援など様々な地域福祉活動に関する事業に助成したことにより、佐賀県内における地域福祉の振興に寄与した。

##### (事業の実績)

平成 29 年度は、「地域いきいき さが・ふれあい基金」助成事業として佐賀県社会福祉協議会が実施した次の各種事業に対して、合計で 14,530,000 円の助成を行った。




## 《佐賀県社会福祉協議会における事業概要》




### (1) 地域福祉活動充実助成事業（助成額 9,450,000 円）

各種の制度改正への対応や、地域の福祉課題解決に特化した市町社協の実践的取り組みを、県社協として支援するため、事業費を助成し、地域福祉活動の充実強化を図った。

●市町社協に対する事業費助成額：7,262,000 円（5市町社協7事業）

助成事業実績				成果・効果等
市町社協名	多久市社会福祉協議会			<p>当該事業は、2年目を迎え、昨年度、利用件数が伸び悩んだこと等の反省点を踏まえ、事業の広報活動にも取り組んだことにより、活動件数や協力会員数も増加した。介護保険サービス等の公的な福祉サービスの狭間にある地域住民の困りごとを支援する仕組みを地域の中で定着させていくことができてきている。</p> <p>〔参考〕対前年度比</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員登録者数 利用会員 20名増 協力会員 15名増</li> <li>・相談件数 195件増</li> <li>・活動件数 170件増</li> </ul>
事業名	〔在宅生活サポート推進事業〕 住民参加型有料在宅福祉サービス事業 わかちあいの“和”			
総事業費	1,200,000 円	助成額	1,000,000 円	
事業概要	<p>毎日の暮らしの中で地域住民が抱えるちょっとした困りごとを、住民相互の助け合い活動により解決することができる仕組みを整備する事業に取り組んだ。</p> <p>また、今年度は特に、当該事業の案内チラシの市内全戸配付や、市報への事業概要の掲載等、広報活動にも積極的に取り組み、事業の利用促進や協力会員の確保を図った。</p> <p>【具体的な事業内容】 登録した利用会員に、協力会員が、買い物や清掃等の支援を行った。</p> <p>【会員登録者数】利用会員 21名 協力会員 19名</p> <p>【相談件数】 延べ 208 件</p> <p>【活動件数】 延べ 175 件</p>			
	 <p>協力会員が清掃等の支援を行った</p>			
市町社協名	多久市社会福祉協議会			<p>今年度の整理整頓支援件数はわずか1件ではあったが、活動の中で、協力者である近隣の住民から畳の寄贈の申し出があるなど、社協だけで行う片付け支援ではなく、地域住民に協力を得ながら行う支援であることの効果を得ることができた。</p> <p>また、民生委員等に協力いただいたアンケートの結果、「自宅がごみ屋敷になって困っている人がいる」、「近隣のごみ屋敷で迷惑を受けている人がいる」、「外から見てごみ屋敷のような家がある」と答えた方は計28名(178名中)となっており、潜在化したニーズがあることが分かった。</p>
事業名	〔在宅生活サポート推進事業〕 地域たすけ愛事業「住居内整理整頓支援事業」			
総事業費	1,200,000 円	助成額	1,000,000 円	
事業概要	<p>市内の高齢者や障害者・生活困窮者等、身体的、経済的、環境的な理由等により、住居内の衛生環境の確保が困難であり、日常的な支援のできる親族がいない方に対して、住民相互の助け合いにより、住居内の不用品の処分や整理整頓を行う事業に取り組んだ。また、民生委員・児童委員や市内各行政区の区長を対象として、当事業の対象となり得るような世帯があるかどうかについてのアンケートを実施した。</p> <p>【具体的な事業内容】 希望があった世帯に対し、社協が現地を確認した後、近隣住民の協力を得ながら、住居内の清掃を実施した。</p> <p>【整理整頓支援件数】1件</p>			
	 <p>近隣住民の協力を得て片付け支援を実施</p>			

助成事業実績				成果・効果等
市町社協名	神崎市社会福祉協議会			
事業名	〔在宅生活サポート推進事業〕 地区の福祉課題見える化事業			
総事業費	1,204,000円	助成額	1,083,000円	
事業概要	<p>柔軟かつ的確な福祉事業の展開を図ることができるよう、地区ごとに抱える福祉課題を収集し、視覚化する事業に取り組んだ。</p> <p><b>【具体的な事業内容】</b>  民生委員・児童委員や区長に訪問等で調査を行い、各地区で抱える不安や福祉課題などについて収集した。  また、その課題を項目ごとに分類し、視覚化し、今後の事業展開の資料とした。  調査対象：千代田町区長 49名、  千代田町民生委員・児童委員 24名、  脊振町区長 9名、脊振町民生委員児童委員 9名 計 91名</p>			
	 <p>民生委員・児童委員や区長 91名に協力をいただいた調査票</p>			<p>今後の事業展開において、一方的な押し付けの事業とならず、資料をもとに検討を行った住民ニーズにこたえる事業を効果的に実施することを見込むことができるようになった。</p> <p>また、併せて社協自体の周知や福祉への関心を高めることができた。</p>
市町社協名	吉野ヶ里町社会福祉協議会			
事業名	〔在宅生活サポート推進事業〕 三世代交流地域見守り支援体制強化事業			
総事業費	563,543円	助成額	495,000円	
事業概要	<p>地域住民誰もが参加できる「ふれあい食堂」の開催を通じて、世代や地区等を超えた地域住民相互の見守り支援体制の整備を図った。</p> <p><b>【具体的な事業内容】</b>  地域のボランティア等の協力を得ながら、夏休み期間中に計5回「ふれあい食堂」を開催し、カレーライスやデザート等の食事の提供のみならず、そば打ち体験や健康体操ミニ教室、紙粘土教室等誰もが参加できる活動も併せて実施し、地域住民の交流を図った。</p> <p><b>【延べ参加者数】</b> 子ども 143名、大人 210名 計 353名</p>			
	 <p>地域住民誰もが集う場所の提供</p>  <p>世代を超えた交流を図った</p>			<p>世代や地区を超えて、地域住民が気軽に集える場やモノづくりの活動を提供したことで、普段は交流の機会のない地域の高齢者と子どもたちや子育て中の親、外出機会が減っている子育て中の親同士等新たな地域住民同士の関係づくりの機会となり、個々の孤立感を軽減し、地域全体として支え合うことへの意識付けに繋がった。</p>

助成事業実績				成果・効果等
市町社協名	有田町社会福祉協議会			
事業名	〔在宅生活サポート推進事業〕 生活ニーズ実態調査と生活支援事業			
総事業費	944,123円	助成額	847,000円	
事業概要	<p>民生委員・児童委員の協力を得て、公的な福祉サービスでは対応できない地域住民の生活上の困りごとやニーズを把握するための調査を実施し、地域住民の協力を得ながら、買い物や居宅の片付け支援等に取り組んだ。</p> <p><b>【具体的内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員の協力を得て、地域の60～80代の方を対象に、日常生活上の困りごとやその原因と思われること、相談先や支援の希望等についてアンケート調査を行った。</li> <li>移動手段がなく買い物に困っている独居の高齢者を対象に、同行し支援を行った。</li> <li>地域サポーターの協力を得て、自力での居宅の片付けやゴミ出し等が困難な世帯を対象に、片付け支援を行った。</li> </ul> <p><b>【活動件数】</b> ・買い物支援 1名、計17回 ・片付け支援 7件</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>車両で送迎し買い物を支援</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地域サポーターも一緒に片付けを支援</p> </div> </div>			<p>地域住民に対し、生活の困りごとについてのアンケート調査を行ったことで、今後の生活支援体制を整備するための基礎とすることができた。</p> <p>介護保険サービス等の公的な福祉サービスの狭間にある地域住民の困りごとを支援する仕組みを地域の中で定着させていくことができてきている。</p>
市町社協名	有田町社会福祉協議会			
事業名	〔総合相談支援体制強化事業〕 包括的支援ネットワーク事業			
総事業費	1,000,000円	助成額	837,000円	
事業概要	<p>高齢者、児童、障害者、生活困窮者等の分野で支援活動を行っている団体や個人とのネットワークを構築するとともに、包括的な相談支援体制を強化するための研修会や困難事例についての検討協議を行った。</p> <p><b>【具体的内容】</b> 研修会・事例検討協議の開催(2回)</p> <p><b>【参加者数】</b> 延べ93名</p> <div style="text-align: center;">  <p>包括的な支援体制の強化に向けてグループ討議を実施</p> </div>			<p>多職種、団体や個人が一堂に会し検討会や協議を行うことで、幅広い貴重な意見交換ができ、地域福祉のネットワーク構築の重要性を再確認する良い機会となった。</p> <p>また、参加者は昨年度が54名、今年度は93名と増加したことから、地域においても当該事業に対する関心度が高まっていることが窺える。</p>



助成事業実績				成果・効果等
市町社協名	太良町社会福祉協議会			<p>「お困り事相談所」の設置は2年目を迎え、積極的に地域に出向き、課題の把握や相談所の周知等に継続して取り組んできた結果、様々な関係機関からも相談が寄せられるようになり、当該関係機関とも協働して地域住民の課題解決のための支援活動に取り組むことができるようになった。</p> <p>また、課題を具体的に把握できるようになったことにより、近隣住民に対しても具体的な支援を依頼できるようになり、その結果、その世帯や住民の課題解決に向けての支援を、地域住民と協働しながら取り組むことができるようになった。</p> <p>このような関係機関や地域住民と協働できる体制づくりを図ることにより、地域の福祉力の向上に繋がった。</p> <p>【相談件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年度 227件</li> <li>・H28年度 220件</li> </ul>
事業名	〔総合相談支援体制強化事業〕 生活のお困り事相談事業			
総事業費	2,270,918円	助成額	2,000,000円	
事業概要	<p>①生活のお困り事相談所の運営</p> <p>地域住民が日常生活の中で困っている課題について積極的に関わり、関係機関との連携や新しいサービスの仕組みを構築した。</p> <p>【具体的な内容】</p> <p>お困りごと相談員を配置し、課題解決に向けての支援や相談所の周知活動、積極的な訪問活動の実施、関係機関等との連絡調整等を行った。</p> <p>【相談件数】 227件</p>			
	<p>②困難な課題解決に向けての支援活動づくり</p> <p>既存の制度等での対応が難しい課題等を解決するための新たな支援策等についての検討を行った。</p> <p>【具体的な内容】</p> <p>生活困窮者自立支援センターとの連携や福祉サービス利用援助事業の対象外となる方に対する事業の検討、引きこもりがちな方への居場所づくり構想、地域住民の協力による食糧支援活動の充実等を行った。</p>			



対象世帯への訪問

## (2) 共助社会づくり・福祉教育推進事業 (助成額 300,000 円)

国が提唱する地域共生社会の実現に向けては、個々の多様な生活課題を地域全体の課題として受け止め、様々な市民活動や福祉ボランティア等の担い手の力無くしては取組めないことが明らかになってきている。

このような状況を踏まえ、地域の生活課題の解決に向けた様々な実践活動は、地域住民に対する福祉教育機能を高める上でも重要なプロセスであり、地域福祉活動が単に地域の対象者の福祉ニーズを解決・充足させるだけに留まるのではなく、地域福祉の担い手の形成の場であると捉え、次の事業を実施。

### 1) ボランティア保険等受付事務

#### ① ボランティア活動保険受付件数

ア) 団体受付分/延べ 42 団体、856 名

イ) 個人受付分/29 名

#### ② ボランティア行事用保険受付件数

延べ 42 団体、65 事業

### 2) ボランティア活動等に係る情報提供や職員派遣

ボランティアの輪を広げることを目的に、県社協ホームページにて、ボランティア活動に対する助言や情報等を提供。

また、県内社協や団体等が開催する災害ボランティアセンター等に関する研修や会議等に対し、講師として県社協の職員を派遣。

### 3) 「24 時間テレビチャリティー募金」活動支援事業

各市町社協や団体等で実施する 24 時間テレビチャリティー募金活動に関し、募金活動団体連絡会議の実施、情報や資材等の提供、及び福祉車両の寄贈申請受付や推薦事務を実施。

■募金活動実施会場 19 市町 114 ケ所

■募金活動参加者数 延べ 1,110 名(うち小中高生 510 名)

■募金総額 5,230,213 円 (佐賀県社協取りまとめ分)

■福祉車両等の寄贈先

寄贈車種	受領団体名	市町名
リフト付きバス	特定非営利活動法人 ともしび	佐賀市
	社会福祉法人 めぐみ厚生センター めぐみ園	佐賀市
	社会福祉法人 花木庭会 鹿島療育園	鹿島市
訪問入浴車	社会福祉法人 真心の園 訪問入浴サービス真心の園	鳥栖市



募金活動連絡会議



福祉車両贈呈式



### (3) 地域福祉活動充実強化事業 (助成額 4,780,000 円)

市町社協には、これまで以上に、地域課題の解決に向けた地域支援の重要性を改めて認識し、地域福祉の主たる担い手としての事業・活動を積極的に展開していくことが求められている。さらには、社協職員の一人ひとりが地域福祉を推進する中核的な組織の一員としての強い使命感と誇りを持ち、併せて高い専門性を発揮して業務に携わることができるよう専門的・職能別的能力の更なる向上が求められている。

このような状況を踏まえ、市町社協を中心とした地域福祉を更に推進するために、各市町社協の役員や事務局長等を対象とした研修会や、小グループでの課題検討会等の実践的な研修会等を通じ、市町社協が今後取り組むべき事業や活動の方向性や実践課題、求められる役割等についての研鑽を深め事業を実施。

#### 1) 市町社会福祉協議会連携会議

市町社会福祉協議会事務局長会議では、国の福祉施策等についての情報提供を行うとともに、次年度の県社協事業の推進についての考え方や重点事業について説明。

また、市町社会福祉協議会地域担当職員連絡会議では、各市町社協担当職員間での地域課題等について情報交換を行い、加えて県社協事業に対する協力を依頼。

##### ①市町社会福祉協議会事務局長会議

〔第1回〕

■期日・会場 平成29年12月20日 グランデはがくれ (佐賀市)

■参加者 20市町社協事務局長等 20名

〔第2回〕

■期日・会場 平成30年2月15日 佐賀県社会福祉会館 (佐賀市)

■参加者 20市町社協事務局長等 20名

##### ②市町社会福祉協議会地域担当職員連絡会議

■期日・会場 平成30年2月16日 グランデはがくれ (佐賀市)

■参加者 19市町社協職員 25名

#### 2) 市町社会福祉協議会の運営体制強化支援

県内各市町の地域における福祉課題や社協活動の状況を把握しながら、小地域活動等の活性化に向けた県社協と市町社協との情報交換のための、県社協による各市町社協の巡回訪問。

また、社会福祉協議会の使命や役割、法人経営のあり方を再確認し、市町社会福祉協議会の運営体制を強化するための役職員を対象とした研修会の実施。

##### ①市町社会福祉協議会個別訪問懇談会の実施

ア) 実施状況一覧

市町社協名	実施日	市町社協名	実施日	市町社協名	実施日
佐賀市	8月18日	小城市	9月26日	玄海町	9月26日
唐津市	9月13日	嬉野市	9月25日	有田町	9月25日
鳥栖市	7月5日	神埼市	8月23日	大町町	7月13日
多久市	7月20日	吉野ヶ里町	9月15日	江北町	7月7日
伊万里市	9月15日	基山町	7月5日	白石町	8月10日
武雄市	7月13日	上峰町	9月14日	太良町	10月5日
鹿島市	10月5日	みやき町	7月3日		

## イ) 懇談の概要

- ・各市町社協次年度重点事業について
- ・地域福祉活動計画の策定状況及び今後の予定について
- ・地域包括ケアシステムに関する取り組みについて
- ・社会福祉充実残額の有無と社会福祉充実計画策定について
- ・その他（新役員体制について、サロン活動の状況、専門家等からの支援状況等について 等）

## ②市町社協職員向け研修会・セミナーの開催

### ア) 市町社会福祉協議会 新任職員研修会

- 期 日 平成 29 年 4 月 18 日、21 日
- 会 場 グランデはがくれ、佐賀県社会福社会館(佐賀市)
- 参加者 市町社会福祉協議会職員 18 名
- 内 容
  - ・講義Ⅰ「社会人として求められるもの」  
講師：アウエフキャリア 代表 田島 聡子 氏
  - ・講義Ⅱ「相談援助の理解・技術」  
講師：アウエフキャリア 代表 田島 聡子 氏
  - ・講義Ⅲ「地域福祉活動の必要性と理解」  
講師：佐賀女子短期大学地域みらい学科  
准教授 羅 珉京 氏
  - ・講義Ⅳ「先輩社協職員からのメッセージ」  
講師：鹿島市社会福祉協議会 係長 諸上 友美 氏  
太良町社会福祉協議会 係長 中村 秀貴 氏
  - ・講義Ⅴ「社会福祉協議会の理解」  
講師：佐賀県社会福祉協議会 まちづくり課職員
  - ・グループ討議  
進行：佐賀県社会福祉協議会 まちづくり課職員  
助言者：鹿島市社会福祉協議会 係長 諸上 友美 氏  
太良町社会福祉協議会 係長 中村 秀貴 氏



### イ) 市町社会福祉協議会 理事・監事・評議員セミナー

- 期 日 平成 29 年 12 月 4 日
- 会 場 マリトピア(佐賀市)
- 参加者 市町社会福祉協議会  
理事、監事、評議員、事務局長等 149 名
- 内 容
  - ・講義「社会福祉法の改正と理事・監事・評議員の責任と使命」  
講師：(独) 福祉医療機構経営サポートセンター 参事 千葉 正展 氏

・実践報告「大牟田市社協における地域福祉活動実践報告」

講師：社会福祉法人大牟田市社会福祉協議会(福岡県)

事務局長 内田 勉 氏

生活支援相談室 主査 馬場 朋文 氏



ウ) 市町社会福祉協議会 事務局長等研修会

■期 日 平成 30 年 1 月 19 日

■会 場 グランデはがくれ(佐賀市)

■参加者 市町社会福祉協議会 事務局長等 32 名

■内 容 ・ 講義「地域共生社会の実現と社協における  
生活支援の課題」

講師：全国社会福祉協議会地域福祉部

副部長 平井 庸元 氏

・ 講義「社会福祉協議会に求められる事業・活動の  
方向性と実践課題 ―琴平社協の取り組みから―」

講師：全社協 地域福祉推進委員会副委員長

琴平町社会福祉協議会

常務理事・事務局長 越智 和子 氏



エ) 市町社会福祉協議会 職員パワーアップゼミ

■参加者 各市町社会福祉協議会・県社協職員 16 名

[プログラムⅠ：「社会福祉協議会の現状と課題」]

■期 日 平成 29 年 12 月 6 日～7 日

■会 場 ホテルマリタレ創世(佐賀市)

■内 容 ・ 講義「地域包括ケアシステム時代における社会福祉協議会の役割」  
講師：東北福祉大学大学院教授

(公財) テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏

・ ワークショップ

「私たちが目指すべき社会福祉協議会像」

ファシリテーター：西九州大学健康福祉学部社会福祉学科 学科長 滝口 真 氏

助言者：東北福祉大学大学院教授

(公財) テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏



〔プログラムⅡ：「地域課題の把握と問題解決の視点」〕

- 期 日 平成30年 1月 9日
- 会 場 グランデはがくれ(佐賀市)
- 内 容 ・講義「地域課題の把握と問題解決の視点」  
           講師：西九州大学健康福祉学部 社会福祉学科 学科長 滝口 真 氏
- ・講義、ワークショップ  
           「福祉・地域課題の把握～住民視点と社協視点～」  
           講師：西九州大学健康福祉学部社会福祉学科 学科長 滝口 真 氏



〔プログラムⅢ：「福祉行財政の理解と法人経営の視点」〕

- 期 日 平成30年 1月25日～26日
- 会 場 佐賀県社会福祉会館(佐賀市)
- 内 容 ・講義「福祉行財政の理解」  
           講師：佐賀県健康福祉部 福祉課 地域福祉担当 主事 池田 美乃里 氏
- ・講義「指導監査からみた適正な法人運営について」  
           講師：佐賀県健康福祉部 福祉課 監査担当 係長 野中 美香 氏
- ・講義「社会福祉法人会計の理解」  
           講師：兵庫県立大学大学院 客員教授  
                   社会福祉法人全国社会福祉事業団協議会 事務局次長 鈴木 俊昭 氏
- ・講義「適正な内部統制体制の構築」  
           講師：兵庫県立大学大学院 客員教授  
                   社会福祉法人全国社会福祉事業団協議会 事務局次長 鈴木 俊昭 氏



〔プログラムⅣ：「組織マネジメントとコンプライアンス」〕、〔プログラムⅤ：「まとめ」〕

- 期 日 平成30年 2月 8日
- 会 場 ホテルマリタール創世(佐賀市)



- 内 容 ・講義「組織マネジメントとコンプライアンス」  
講師：アウエフキャリア 代表 田島 聡子 氏
- ・講義「地域福祉への果敢な挑戦のために～社会福祉協議会職員へのエール～」  
講師：東北福祉大学大学院教授  
(公財) テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏
- ・クロージングセッション  
ファシリテーター：西九州大学健康福祉学部社会福祉学科 学科長 滝口 真 氏  
助言者：東北福祉大学大学院教授  
(公財) テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏

オ) 市町社会福祉協議会 エリア別職員研修会

[第1回]

テーマ「総合相談における課題にどう対応するか」

◇南部地区

- 期日・会場 平成 29 年 11 月 29 日 武雄市社会福祉協議会
- 参加者 市町社会福祉協議会職員 11 名

◇北西部地区

- 期日・会場 平成 29 年 11 月 30 日 多久市社会福祉協議会
- 参加者 市町社会福祉協議会職員 8 名

◇東部地区

- 期日・会場 平成 29 年 12 月 1 日 みやき町ボランティアセンター
- 参加者 市町社会福祉協議会職員 7 名

[第2回]

テーマ「地域の福祉課題・生活課題を把握するためのアウトリーチにおける課題にどう対応するか」

◇南部地区

- 期日・会場 平成 30 年 1 月 12 日 白石町社会福祉協議会
- 参加者 市町社会福祉協議会職員 7 名

◇北西部地区

- 期日・会場 平成 30 年 1 月 18 日 多久市社会福祉協議会
- 参加者 市町社会福祉協議会職員 15 名

◇東部地区

- 期日・会場 平成 30 年 1 月 22 日 上峰町社会福祉協議会
- 参加者 市町社会福祉協議会職員 7 名

3) 市町社会福祉協議会法人運営体制整備への支援

①町社協実地監査立会による事業実施体制等への支援

平成 29 年度に佐賀県福祉課が実施した町社会福祉協議会の実地監査に県社協職員が立会し、事業の適正執行について確認及び支援を行った。

No.	社協名	実施日	No.	社協名	実施日
1	みやき町社会福祉協議会	10 月 3 日	3	基山町社会福祉協議会	10 月 27 日
2	上峰町社会福祉協議会	10 月 11 日	4	江北町社会福祉協議会	11 月 28 日

②改正社会福祉法への対応支援

各市町社会福祉協議会における適切な法人運営を図るため、理事会・評議員会の運営方法や各種事務手続き等についての個別の相談への対応。

4) 情報収集、研究

県内外における会議・研修等での情報収集を行い、県内の地域福祉活動向上のため県社協から各市町社協に対し、収集・研究した情報等を提供。

①九社連地域福祉委員会への出席

■期日・場所 平成29年4月13日／福岡市

②九州各県・指定都市社会福祉協議会 業務部課長会議への出席

■期日・場所 平成29年4月14日／福岡市

③都道府県・指定都市社会福祉協議会 地域福祉推進部・課長会議への出席

■期日・場所 平成29年4月25日～26日／東京都

④成年後見制度利用促進基本計画に係る説明会への参加

■期日・場所 平成29年6月22日／福岡市

⑤社会福祉協議会活動全国会議への参加

■期日・場所 平成29年6月28日～29日／東京都

⑥九州4県社協職員合同研究会議への参加

■期日・場所 平成29年12月6日～7日／久留米市(福岡県)

⑦災害ボランティアセンター運営者研修への参加

■期日・場所 平成29年12月12日～13日／岡山市

⑧都道府県・指定都市社協災害ボランティアセンター担当者連絡会議への出席

■期日・場所 平成30年1月19日／東京都

⑨都道府県・指定都市社協生活困窮者自立支援事業担当者会議への出席

■期日・場所 平成30年2月23日／東京都

5) 情報提供

県内外の助成金や物品寄贈等に関する情報を、県社協より各市町社協に対して周知。

■合計 48 団体(54 事業)

案内月	募集团体名
4月	(公財)大同生命厚生事業団、(一財)日本おもちゃ図書館財団、(公財)高原環境財団、(公財)太陽生命厚生財団、パナソニック(株)、(公財)ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティー・ジャパン、読売新聞、(福)中央共同募金会、フェイザー(株)、(福)清水基金、佐賀県こども未来課
5月	(福)丸紅基金、(一財)松翁会、文部科学省、武雄市、(公財)損保ジャパン日本興亜福祉財団、九州労働金庫、唐津市、(公財)みずほ福祉助成財団、(福)朝日新聞厚生文化事業団、(公財)みずほ教育福祉財団、(公財)ヤマト福祉財団
6月	(一社)生命保険協会、(公財)伊藤忠記念財団、(公財)日本財団
7月	(公財)日野自動車グリーンファンド、(公財)ユニバーサル財団、(公財)ベネッセこども基金、(福)大和証券福祉財団
8月	(一社)生命保険協会、(公財)都市緑化機構、(公財)損保ジャパン日本興亜福祉財団
9月	日本郵便(株)、(公財)キリン福祉財団、日本たばこ産業(株)
10月	(公社)日本フィランソロピー協会
11月	(公財)杉浦記念財団、(一財)九電みらい財団
12月	(公財)さわやか福祉財団、(公財)三菱財団
1月	(福)中央共同募金会、(独)福祉医療機構
2月	(福)NHK厚生文化事業団、(公財)みずほ教育福祉財団
3月	(特非)モバイル・コミュニケーション・ファンド、(公財)日本生命財団、(公財)大同生命厚生事業団、(公財)ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン



## 2. 非営利法人又は任意団体が実施する地域活動事業に対する助成事業

### (趣旨)

非営利法人や任意の団体が実施する福祉教育の推進、地域福祉の条件整備、保健福祉の増進、ボランティア活動の育成及び支援など様々な地域福祉活動に関する事業に助成することにより、佐賀県内における地域福祉の振興に寄与した。

### (事業の実績)

平成 29 年度は、「地域いきいき さが・ふれあい基金」助成事業として、非営利の法人や任意の 27 団体の 29 事業に対して、次のとおり合計 8,315,000 円の助成を行った。

その詳細は下記のとおりである。

No.	団体名	事業名	事業内容	助成額(円)
1	特定非営利活動法人 子どもの本屋ピピン	乳幼児のための布絵本 づくり	布絵本作りを通じた子育て支援(悩みの 解消、リフレッシュ、仲間づくり)	192,000
2	特定非営利活動法人 poco a bocca	小児アレルギー講演会 開催事業	アレルギー疾患に関する保護者、保育 者、教員向け講演会の開催	427,000
3	日本ボーイスカウト 佐賀県連盟佐賀第5団	ボーイスカウト体験会	野外活動の経験が少ない小学生を対 象とした体験会の開催	128,000
4	子育てサークルあかね	愛のある子育て ～子育て親育ち元気 応援事業	乳幼児の父母を対象とした子育てに 関する講座の開催	547,000
5	西唐津校区 青少年育成協議会	子どもの見守り活動	校区内巡回による子どもの見守り活 動と啓発事業の実施	110,000
6	佐賀県更生保護女性連盟	世代間交流事業	児童養護施設訪問による子どもたち との交流事業	150,000
7	障がい児者のつどいの場 あいあい	障がい当事者のリハビ リ支援プログラム	肢体不自由児(者)の定期リハビリ支 援(機能回復訓練)	531,000
8	佐賀県重症心身障害児(者) を守る会	第20回九州・沖縄プロ ック佐賀大会	九州各県の重症心身障害児(者)の当 事者及び家族等の九州大会の開催	100,000
9	第28回九州障がい者水泳選 手権佐賀大会実行委員会	第28回九州障がい者 水泳選手権佐賀大会	身体障害者・知的障害者の水泳の九州 大会の開催	100,000
10	特定非営利活動法人 佐賀県腎臓病協会	透析患者の「終活」に 関する事業	透析患者向けのエンディングノート の作成	300,000
11	特定非営利活動法人 楠の木会	障害者のアート活動に よる地域交流事業	障害者の生活意欲向上と仲間づくり のためのアート活動及び障害者の地 域理解のためのアート展の開催	535,000
12	〇〇な障がい者の会	障がい者いきいきサロ ン事業(かたらん会)	障害者の外出機会の確保と社会参加 促進のためのサロンの開催	167,000
13	特定非営利活動法人 障害者自立生活支援センター ドリーム・ロード	障がい者スポーツ 振興事業	障害者スポーツの普及と障害者理解 の促進のための電動車椅子サッカー 大会の開催	180,000
14	特定非営利活動法人 障害者自立生活支援センター ドリーム・ロード	佐賀の肢体不自由者、 車椅子ユーザー向けの ネットを使った情報提 供事業	車椅子利用者等の社会参加と外出支 援のためのインターネットを利用し た情報提供	260,000

No.	団体名	事業名	事業内容	助成額(円)
15	公益社団法人 日本オストミー協会 佐賀県支部	県民への広報・県内 オストメイトと家族へ の相談事業	オストメイトの相談会の開催	200,000
16	城北県営自治会	おはようボタン事業	高齢者の単身世帯へ設置した「送信機」を活用した高齢者の見守り支援体制の整備	93,000
17	若楠健康麻雀サークル	健康麻雀教室	高齢者の生きがいをづくりのための健康マージャン教室の開催	136,000
18	特定非営利活動法人 佐賀県CSO推進機構	地域高齢者健康づくり 支援事業パート2	介護予防、健康維持、引きこもり予防のための運動教室の開催及び指導者の養成	220,000
19	社会福祉法人 野菊の里	あったか地域サポート 事業	地域の高齢者サロンの支援とサポーター養成講座の開催	445,000
20	社会福祉法人麗風会 在宅介護支援センター桜の園	地域交流推進事業	地域の高齢者の居場所づくりを通じたニーズの掘り起こしと地域づくり	212,000
21	特定非営利活動法人 NPO 潮高満川	シルバーエイジ「生きがい を乗せた夢づくり」	高齢者の生きがいをづくりのための交流事業	498,000
22	高砂ひまわり会	高齢者の健康づくり 事業	高齢者の交流の場、健康づくりのためのグラウンドゴルフの実施	40,000
23	北川副校区社会福祉協議会	高齢者の引きこもり 予防のための「アメリカ ンフラワー教室」	高齢者の引きこもり予防のための居場所づくりを目的としたアメリカンフラワー教室の実施	150,000
24	特定非営利活動法人 Saga よかとこ発信	地域活性化・地域住民の 健康づくり推進事業	高齢者等の健康増進と生きがいをづくりのための「佐賀弁ラジオ体操」DVD等制作	656,000
25	新栄校区社会福祉協議会	校区福祉推進講演会	地域福祉活動活性化のための講演会の開催	88,000
26	特定非営利活動法人 NPO 潮高満川	塾に行けない子ども たちの学習支援事業	ひとり親世帯や生活困窮世帯の子どもの学習支援のための教室の開催	782,000
27	傾聴ボランティア ほほえみ	傾聴カフェ及び傾聴 講演会の開催	福祉への関心を高めるための傾聴カフェと講演会の開催	100,000
28	公益社団法人 佐賀県栄養士会	訪問栄養ケア事業	在宅療養のための訪問による栄養食事支援及び支援者スキルアップ研修会の開催	840,000
29	社会福祉法人 みやき町社会福祉協議会	ふれあいサロン推進 フォーラム ～サロンにかたろう～	地域福祉を推進するためのサロン活動の推進と発展を目的としたサロン活動関係者のフォーラムの開催	128,000

## II 会務の運営

### 1. 役員会の開催

#### (1) 理事会

##### [第1回]

期 日 平成 29 年 5 月 22 日 (月) 13 時 30 分～14 時 10 分  
場 所 佐賀県社会福祉会館(佐賀市)  
議 事 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告及び決算について  
第 2 号議案 評議員会の招集について  
報 告 代表理事の職務の執行状況について  
業務執行理事の職務の執行状況について  
出席者 理事 7 名中 5 名出席  
監事 2 名中 2 名出席

##### [第2回]

期 日 平成 29 年 6 月 16 日 (金) ※書面決議  
議 事 第 1 号議案 業務執行理事の選定について  
同意者 理事 7 名中 6 名同意  
監事 2 名中 2 名同意

##### [第3回]

期 日 平成 30 年 3 月 23 日 (金) 10 時 25 分～11 時 00 分  
場 所 佐賀県社会福祉会館(佐賀市)  
議 事 第 1 号議案 平成 30 年度事業計画について  
第 2 号議案 平成 30 年度収支予算について  
報 告 代表理事の職務の執行状況について  
業務執行理事の職務の執行状況について  
資金の運用管理について  
出席者 理事 7 名中 6 名出席  
監事 2 名中 2 名出席

#### (2) 評議員会

##### [第1回]

期 日 平成 29 年 6 月 8 日 (木) 13 時 30 分～14 時 07 分  
場 所 佐賀県社会福祉会館(佐賀市)  
議 事 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告及び決算について  
第 2 号議案 理事及び監事の補充選任について  
出席者 評議員 7 名中 6 名出席  
監 事 2 名中 2 名出席

#### (3) 監事監査

期 日 平成 29 年 5 月 15 日 (月) 15 時 00 分～16 時 30 分  
場 所 佐賀県社会福祉会館(佐賀市)  
内 容 平成 28 年度事業及び決算について  
出席者 監事 2 名中 2 名出席

## 2. 事業推進委員会の開催

[第1回]

期 日 平成 29 年 8 月 10 日 (木) 10 時 00 分～11 時 00 分  
場 所 グランデはがくれ(佐賀市)  
内 容 平成 29 年度佐賀県地域福祉振興基金追加助成金交付審査  
・地域福祉活動団体助成審査  
出席者 委員 9 名中 6 名出席

[第2回]

期 日 平成 30 年 3 月 13 日 (火) 13 時 30 分～15 時 00 分  
場 所 佐賀県社会福祉会館(佐賀市)  
内 容 平成 30 年度佐賀県地域福祉振興基金助成金交付審査  
・地域福祉活動団体助成審査  
・地域福祉活動佐賀県社会福祉協議会助成審査  
出席者 委員 9 名中 7 名出席

## 3. その他の会議等の開催

(1) 助成事業決定通知書交付式

期 日 平成 29 年 4 月 11 日 (火) 10 時 00 分～12 時 00 分  
場 所 グランデはがくれ(佐賀市)  
内 容 ①平成 29 年度助成事業決定通知書交付  
②記念講話  
演題「これからの地域福祉活動に向けて～地域福祉の可能性と推進のしくみ～」  
講師：佐賀県地域福祉振興基金 事業推進委員会 委員長  
西南学院大学 人間科学部 社会福祉学科 教授 倉田 康路 氏  
③助成団体活動報告  
・傾聴ボランティア ほほえみ  
・特定非営利活動法人 障害者自立支援センター ドリーム・ロード  
④助成金交付手続き等事務説明

(2) 追加募集助成事業決定通知書交付式

期 日 平成 29 年 8 月 29 日 (火) 15 時 00 分～16 時 00 分  
場 所 佐賀県社会福祉会館(佐賀市)  
内 容 ①平成 29 年度追加募集助成事業決定通知書交付  
②助成金交付手続き等事務説明

